

2015年3月期 第2四半期決算説明資料

2014年10月17日



GENDAI AGENCY Inc.

ゲンダイエージェンシー株式会社

P3 第2四半期 損益計算書（連結）

P4 事業の種類別セグメント

【広告事業】

P5 第2四半期 損益計算書

P6 四半期売上高の推移

P7 品目別売上高の推移

P8 顧客の状況

P9 従業員の状況

【不動産事業】

P10 第2四半期 損益計算書

P11 第2四半期 連結貸借対照表

P12 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

P13 2015年3月期 連結業績予想の修正に関して

第2四半期 損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2 Q累計期間	構成比	前年 2 Q累計期間	構成比	前年同期比
売上高	8,736	100.0%	8,569	100.0%	102.0%
営業利益	657	7.5%	887	10.4%	74.1%
経常利益	673	7.7%	889	10.4%	75.7%
当期純利益	401	4.6%	551	6.4%	72.7%

□パチンコホール業界では、広告規制の影響に加え、建築資材高騰・作業人員不足等の影響により、当期間におけるグランドオープン案件も例年に比べ少ない状況にありました。

□主力の広告事業では販売シェアを拡大するため、取引店舗数の更なる増加に取り組むとともに、前期末に子会社化したユーアンドユー社（以下UU社）の新たな体制作りと今後の営業戦略の構築を進めました。

□結果、当第2四半期累計期間の売上高は8,736百万円（前年同期比+2.0%）、営業利益は657百万円（同▲25.9%）、経常利益は673百万円（同▲24.3%）、当期純利益は401百万円（同▲27.3%）となりました。

事業の種類別セグメント

□当第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	調整額	連結
売上高	8,661	74	-	8,736
うち通販広告	510			
セグメント利益	848	29	▲220	657

□前年同月比

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	調整額	連結
売上高	+192	▲25	-	167
セグメント利益	▲207	▲5	▲17	▲230

□前期末に連結子会社化した通販広告事業の貢献があり、当第2四半期連結累計期間は前年同期比では、売上高で167百万円の増収となったものの、セグメント利益は▲230百万円の減益となりました。

第2四半期 損益計算書（広告事業）

（単位：百万円）

広告事業	2Q累計期間	前年2Q累計期間	前年同期比
売上高	8,661	8,469	102.3%
うち通販広告	510	-	-
営業費用	7,813	7,414	105.4%
セグメント利益	848	1,055	80.4%

□当第2四半期連結累計期間のホール広告市場は、広告規制強化の影響を受け、引き続き需要低迷する状況にありました。こうした環境下で広告事業では、

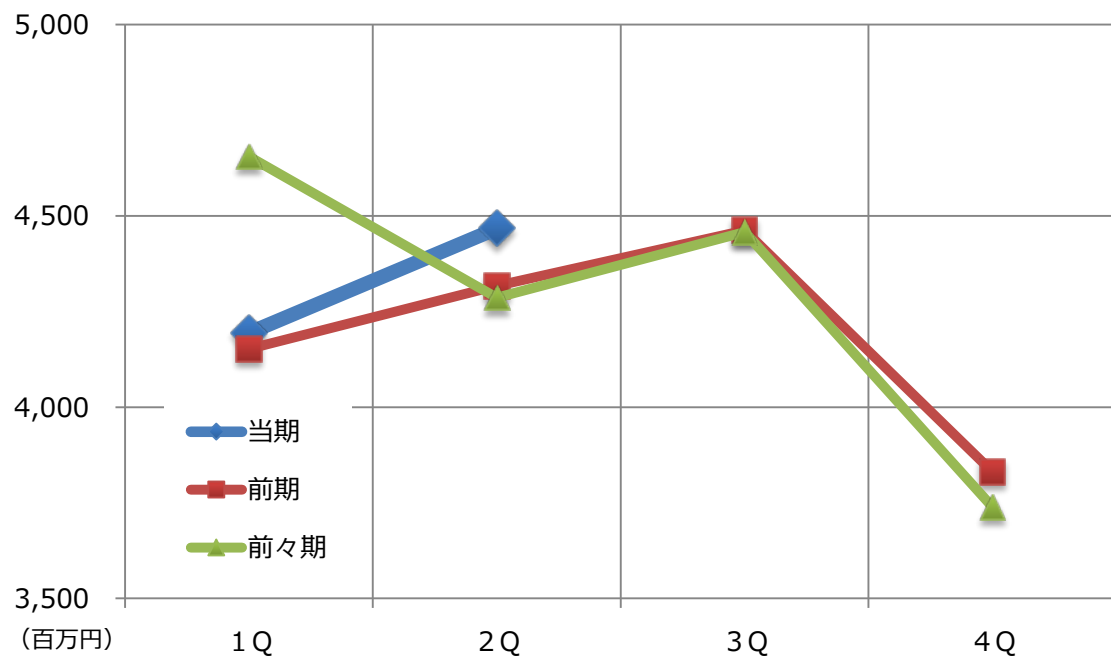
- ・パチンコ広告事業において、取引顧客数の更なる増加に向けた提案活動を強化する一方で、デザイン業務の効率化によるコスト削減に取り組みました。
- ・通販広告事業では、前期末の買収後の新体制構築・営業戦略の構築を進めました。

□これらの取り組みにより、UU社の売上高510百万円が寄与し、広告事業の売上高は8,661百万円（前年同期比+2.3%）となったものの、パチンコ広告事業の売上高減少に伴うマージン減少の影響により、セグメント利益では848百万円（同▲19.6%）となりました。

四半期売上高の推移（広告事業）

(単位：百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計
当期	4,194	4,467	-	-	8,661
うち通販広告	276	234	-	-	510
前期	4,152	4,317	4,462	3,831	16,762
前々期	4,655	4,286	4,458	3,739	17,138

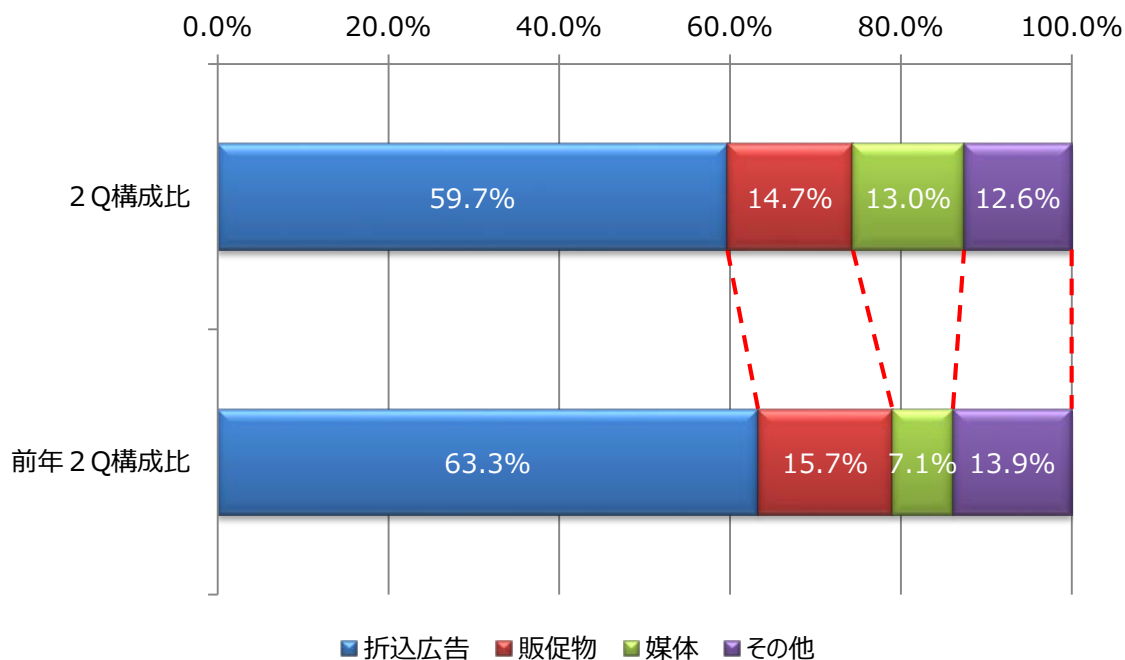


□通販広告事業の影響もあり、売上高の前年同期比では192百万円の増加となりました。

品目別売上高の推移（広告事業）

（単位：百万円）

	2Q	構成比	前年2Q	構成比	前年同期比
折込広告	5,168	59.7%	5,359	63.3%	96.4%
販促物	1,271	14.7%	1,332	15.7%	95.4%
媒体	1,130	13.0%	600	7.1%	188.5%
その他	1,090	12.6%	1,177	13.9%	92.6%
	8,661	100.0%	8,469	100.0%	102.3%



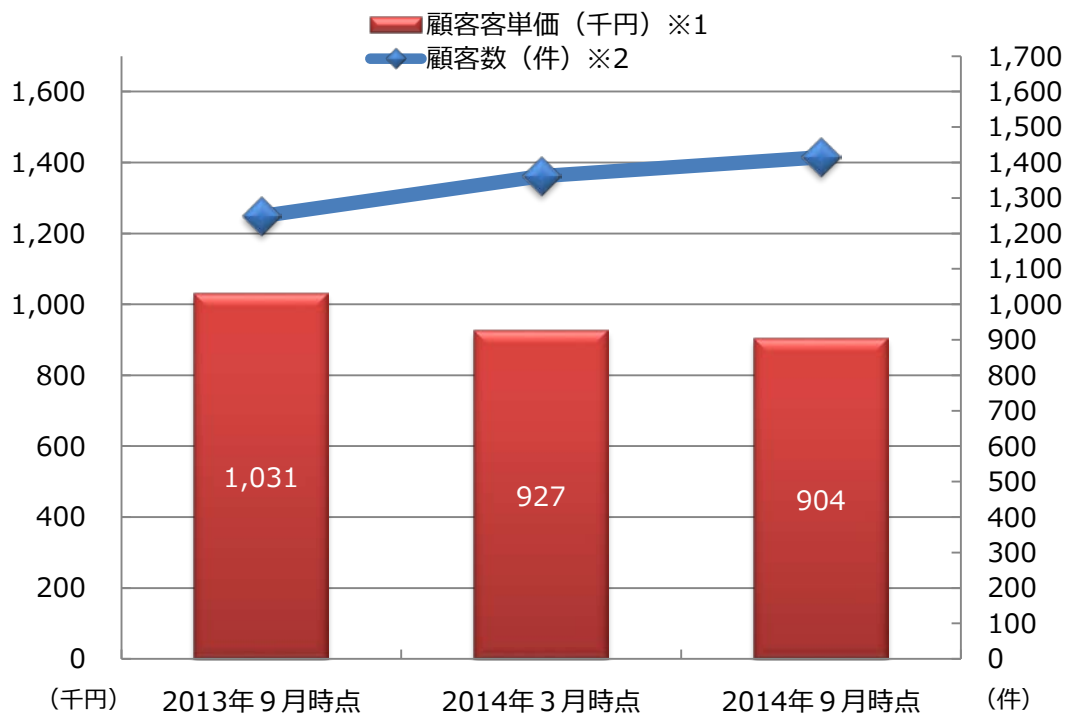
□通販広告事業の連結子会社化により、媒体の売上および比率がそれぞれ前年同期比で+530百万円、+5.9%となりました。

顧客の状況（広告事業）

□ 9月単月でみる顧客数は前年同期比で+166件（+13.3%増）となったものの、顧客の広告費減少傾向により、客単価は同▲127千円（▲12.3%）減少しました。

稼働顧客	2013年9月時点	2014年3月時点	2014年9月時点
顧客客単価（千円）※1	1,031	927	904
顧客数（件）※2	1,249	1,362	1,415

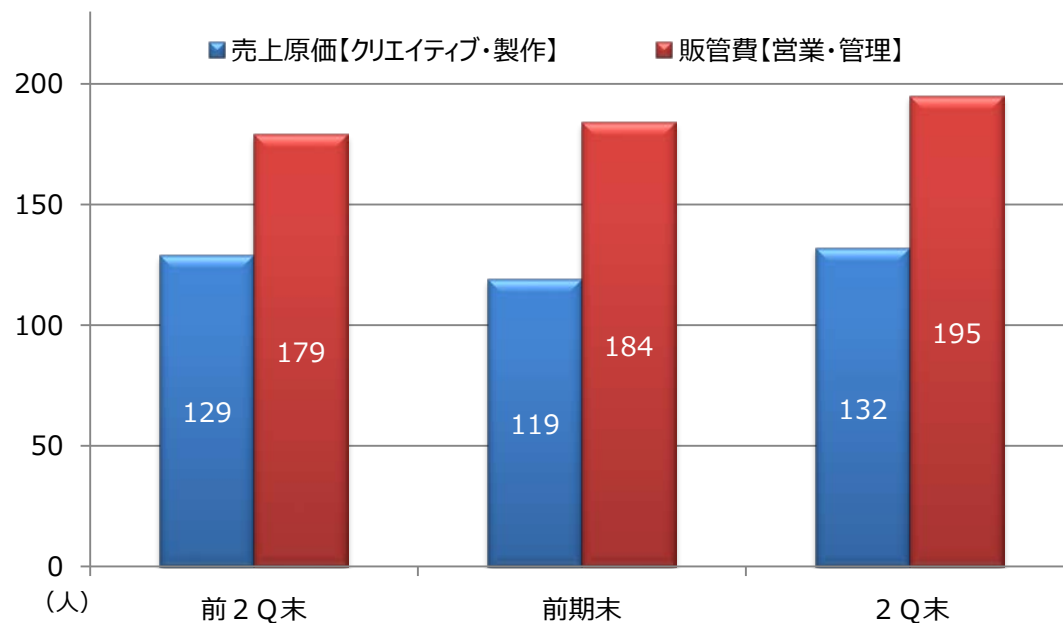
※1：数値は単月実績です ※2：月額取引50千円以上の取引先を顧客としています



従業員の状況（広告事業）

（単位：人）

	前2Q末	前期末	2Q末
売上原価【クリエイティブ・製作】	129	119	132
販管費【営業・管理】	179	184	195
広告事業計	308	303	327



□主として通販広告事業の17人が加わった影響により、前2Qと比較して+19人となりました。

第2四半期 損益計算書（不動産事業）

（単位：百万円）

不動産事業	2Q累計期間	前年2Q累計期間	前年同期比
売上高	74	99	75.2%
営業費用	45	65	69.2%
セグメント利益	29	34	85.1%

□当第2四半期連結累計期間においては、既契約で継続中の2件の賃貸案件の他にスポットの仲介案件があり、売上高は74百万円（前年同期比▲24.8%）、セグメント利益は29百万円（同▲14.9%）となりました。

第2四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (A)	2Q末 (B)	差額 (B) - (A)
現金及び預金	3,804	3,448	▲355
受取手形・売掛金	2,226	2,244	18
その他流動資産	180	308	128
有形固定資産	893	918	25
無形固定資産	259	321	62
投資その他資産	1,124	937	▲187
資産合計	8,487	8,178	▲309
支払手形・買掛金	1,289	1,346	57
短期借入金（一年内返済予定の長期借入金含む）	756	360	▲396
未払法人税等	318	256	▲62
その他流動負債	238	257	19
長期借入金	270	720	450
その他固定負債	26	18	▲8
負債合計	2,898	2,959	60
株主資本	5,567	5,184	▲383
その他	20	33	13
純資産合計	5,589	5,219	▲369
負債・純資産合計	8,487	8,178	▲309

①納税、配当による現金および預金の減少

②短期借入金の減少

③長期借入金の増加

④前期末比369百万円の減少

～主な要因～

- ・四半期純利益401百万円
- ・自己株式▲551百万円
- ・利益配当▲232百万円

第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2Q
税引前利益	637
のれん償却額	22
減価償却費	34
貸倒引当金の増減額	▲0
受取利息及び受取配当金	▲3
支払利息	4
為替差損益	▲16
売上債権の増減額	▲11
棚卸資産の増減額	▲11
仕入債務の増減額	58
その他	45
小計	759
法人税等の支出額	▲301
その他	▲2
営業活動によるキャッシュ・フロー	457
有形・無形固定資産の取得による支出	▲145
有形・無形固定資産の売却による収入	1
投資有価証券の取得による支出額	▲0
投資有価証券の売却による収入	30
敷金及び保証金の差入による支出	▲34
敷金及び保証金の回収による収入	40
その他	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲92
短期借入金の純増減額	▲500
長期借入れによる収入	700
長期借入金の返済による支出	▲167
少数株主からの払込みによる収入	21
自己株式の取得による支出額	▲551
配当金の支出額	▲232
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲729
現金及び現金同等物に係る換算差額	12
現金及び現金同等物の増減額	▲352
現金及び現金同等物の期首残高	3,839
現金及び現金同等物の期末残高	3,486

①前期決算に係る法人税等の納付額▲301百万円

②自己株式取得▲551百万円

③前期決算に係る期末配当金の支払▲232百万円

2015年3月期 連結業績予想の修正に関して

(単位：百万円)

	2015年3月期 2Q実績	前回発表通期予想 (A) ※2014年4月18日 発表	進捗率	今回修正通期予想 (B)	進捗率	増減額 (B - A)	増減率
売上高	8,736	18,500	47.2%	17,300	50.5%	-1,200	▲6.5%
営業利益	657	1,700	38.6%	1,450	45.3%	-250	▲14.7%
経常利益	673	1,700	39.6%	1,450	46.4%	-250	▲14.7%
当期純利益	401	1,100	36.5%	900	44.6%	-200	▲18.2%

□当第2四半期連結累計期間のパチンコホール広告市場においては、建築費高騰や消費税増税等の影響により、パチンコホールの新規オープン案件が減少した結果、大型告知案件需要は、当初計画比で減少いたしました。また、本年9月より実施されているパチスロ機の型式試験方法変更の影響により、新機種の市場投入が停滞することが予想され、これがパチンコホールの出店計画にもマイナスに作用すると見込まれることから、当下期の大型告知案件についても、当初予想比で減少することが予想されます。加えて、上述の新機種の市場投入の停滞の影響により、新台入替告知需要についても当初計画比で減少することが予想されます。以上の結果、当期のパチンコホール広告売上高は、前回発表予想比で▲800百万円減少する見込みであります。

また、本年3月に連結子会社化した、通販事業特化の広告会社であるUU社においては、新規のクライアント開拓について、当初計画より時間を要すると見込まれることから、通販広告売上高は、前回発表予想比で▲400百万円減少する見込みであります。

営業利益、経常利益及び当期純利益は、主として広告事業における、パチンコホール広告売上高の減少に伴う、マージンの減少により、それぞれ前回発表予想比で減少する見込みであります。

なお、当社では、**配当の基本方針として、連結配当性向50%を目安としておりますが、今回の業績予想の修正に伴う、配当予想の修正はありません。**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 経営企画部 Tel.03-5358-3334